

学校名	羽生市立東中学校
所在地	羽生市今泉1448
電話	048-565-3741

1 本校の概要

本校は1981年に3つの中学校の統合により開校された。2010年より学校教育目標を『昇る陽の如く』とし、今年度は全校生徒462名、学級数16の中規模校である。目指す学校像である「逞しく、優しい生徒が育つ『生き方』が身に付く学校」の具現化を目指し、「徳・知・体の精神」をスローガンに、「生き方(目的)が定まれば、学習意欲、運動意欲に繋がる」をモットーとして「チーム東中学校」で教育活動に取り組んでいる。

2 本校の実践

今年度より、「未来の“本好き”を育てよう」を学校図書教育のテーマとして、地域の書店と連携した活動を推進している。また、学校司書や文化部と協働することで学校図書館の環境整備と充実にも取り組んでいる。

(1) 実践の視点

- ① 学校図書館内外の環境整備の工夫
- ② 司書教諭と学校司書、文化部との協働による取組
- ③ 家庭や地域の書店との連携

(2) 実践の概要

① 魅力ある学校図書館づくり

ア 利用生徒が必要とする本を探しやすくするため、図書委員会によるラベルの作成(図1)。

イ 親しまれる図書館を目指し、美術部作成の壁面掲示物(図2)、技術部作成のベンチ(図3)等を配置することで、明るく木のぬくもりを感じる環境づくり。



図1 ラベルの設置

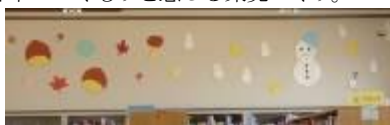


図2 美術部による壁面掲示



図3 技術部作成の机やベンチ

② 司書教諭と学校司書の協働

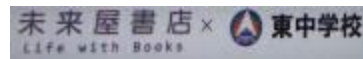
ア 司書教諭と学校司書による打合せ

司書教諭と学校司書が週に1時間の打ち合わせをすることにより学校図書館の活性化と充実に取り組む。

イ 各教科における学校司書の活用

1年生を対象とした学校図書館の利用方法に関するガイダンスを学校司書が担当することで学校図書館活用の興味関心を高めるとともに、各教科の単元で利用可能な図書の事前準備を行う。

③ 地域との連携



ア 地域の書店との連携

職場体験で書店に行く生徒は実習中にPOPを作成する。この活動を体験した生徒は読書への関心が高まったことを踏まえ本活動を継続させ、今年度は「未来の“本好き”を育てよう」をテーマとし、書店と本校で相互に「おすすめの



図4 図書委員会作成POP

本”を紹介する活動を行う。現在、書店から提示されるテーマに沿って生徒がPOPを作成し、それを書店に展示している(図4)。第1回のテーマは「2019年、1番面白かった本」であった。

また、書店員おすすめの本のポスターと特におすすめの1冊を提供してもらい、図書室の入り口に展示をした(図5)。



図5 地域の書店との連携による環境づくり

3 成果と今後の課題

(1) 成果

①配架場所や掲示物を工夫することで、本の所在が一目でわかるようになった。また、教員や文化部と協力して図書館整備を行うことを通して、多くの教職員及び生徒が図書館への関心を抱く契機となった。さらに、地域の書店と連携することで様々な分野の本に触れる機会が増えた。

②司書教諭と学校司書の打ち合わせ時間を確保することで学校図書館の環境づくりや読書活動の活性化について計画的に推進することができた。

(2) 課題

学校図書館の来室生徒数は漸増しているが、学校図書館が読書センター及び学習・情報センターとなるために、今後は生徒が主体となった活動(ビブリオバトルやブックトーク)等にも取り組むことで、さらなる活性化を図っていきたい。